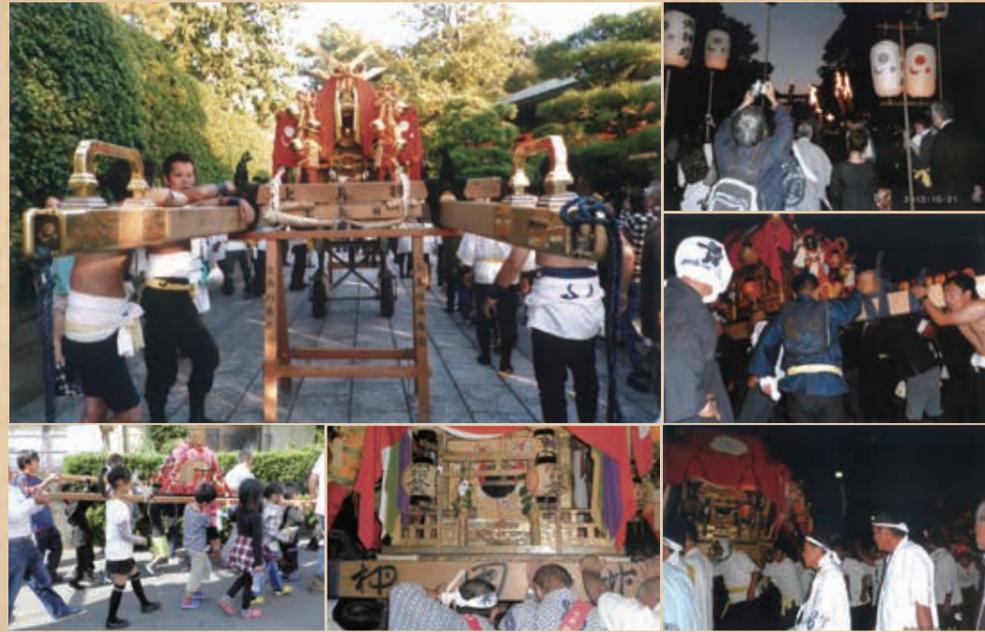


城南宮のお祭り



10月の第3日曜日(去年は10月21日)は「城南祭」。

3基の御神輿が氏子地域を練り歩く賑やかな祭りである。梅、松、竹の三つの神輿。梅は旧下鳥羽村、松は旧上鳥羽村、竹は旧竹田村の神輿を意味する。神輿は、昼間、氏子の町内を練り歩き(渡御という)そして神社に夕方頃に神社に還ってくる。ここまでは、他のお祭りと同じだ。

ここからが違う。御神輿が神輿の舎に納められる前が見ものだ。神社の真ん中にある拝殿の回りを、ホイット、ホイットという掛け声で威勢よく、屈強の若者が御神輿を担ぎながら周る。それも3回。これが済むと神輿の舎に納められる。

梅神輿が還ってくる5時頃はまだ明るい、次の松の頃から暗くなる。松神輿は梅神輿と同じく西の鳥居から。松明に火が付けられる。その松明を灯しながら神社の中に入ってきた。そして、拝殿の周りを梅神輿と同じように掛け声を掛けながら賑やかに動き回る。

6時半頃になると、すっかり日が暮れ真っ暗になる。竹神輿が還ってきた。東の鳥居から松明を灯しながら提灯の行列がそろそろ入ってくる。拝殿の前までくると一転。ホイット、ホイットと元気のいい掛け声がかかる。若者が神輿を担ぎながら威勢よく動き回る。周りを囲んでいる多くの観客も一緒になってホイット、ホイット、と声をあげる、手をたたき、観客と一体となった行進だ。神輿の後には提灯が続く。ちょっと離れてみると、暗闇の中を数十本の提灯だけが動いているように見える。七瀬川町、西河原町などと地区の名前が書いてある提灯を、子供たちが両手でしっかりと持って行進しているのだが。

まさに暗闇の中の神事。提灯と松明の灯の中を環御し、拝殿を周る御神輿は見事な壮大なお祭りであった。しばし、古き時代に戻ったひとときであった。

伏見に引っ越してきて16年になるがこれまで観たことはなかった。昨年の三栖神社の炬火祭りといい、すばらしい伏見の伝統ある神事を体感することができた。

昼間は子供の担ぐ神輿が町内を練り歩く。その神輿の後ろを「幼児がのった乳母車」がつづく。竹田小学校の近くで。



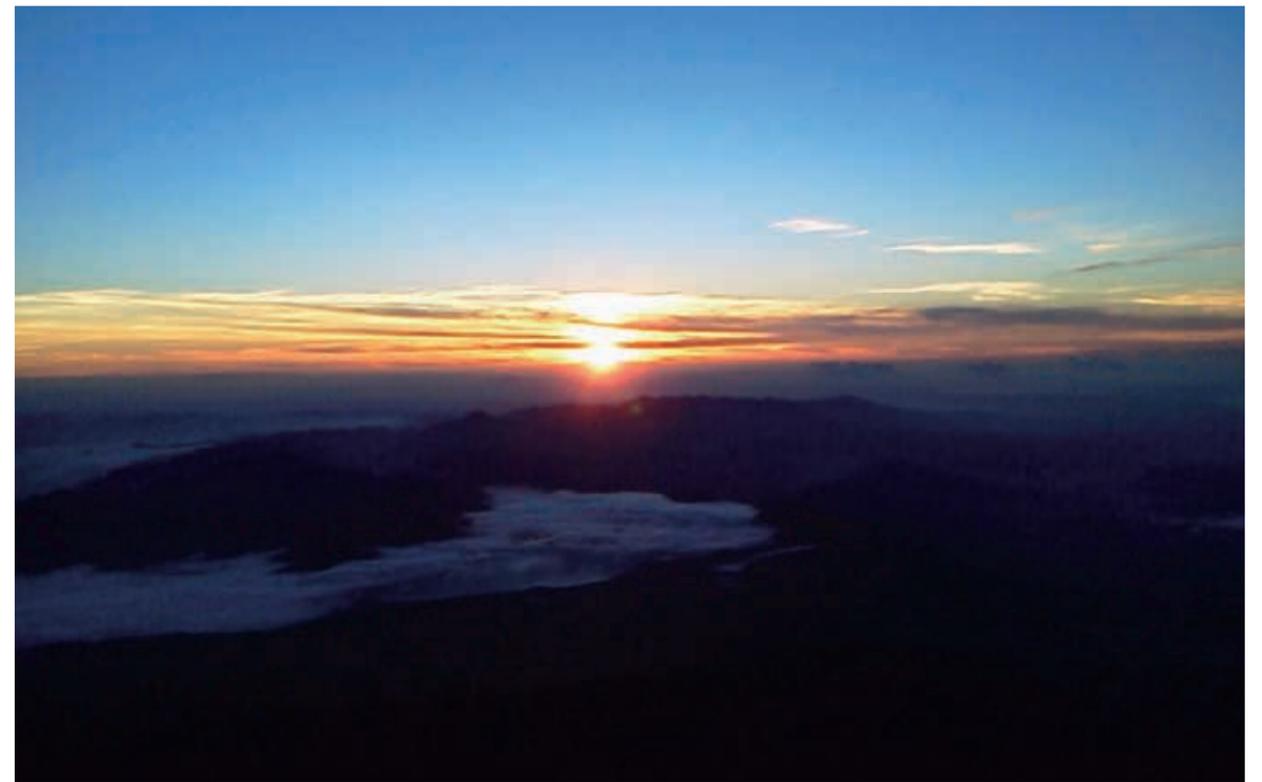
広報委員／須藤弘



伏水

平成25年1月1日
第63号

近畿税理士会 伏見支部
京都市伏見区深草北蓮池町908
発行人／谷口 貢
編集人／小山富央



富士山頂より(写真/中田 均)

新年明けまして
おめでとうございます



新年のごあいさつ 伏見支部長 谷口 貢

新年あけましておめでとうございます。

支部会員先生並びに関係各位におかれましては、平成25年巳年の新春をお健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

旧年中は会員のみなさま並びに関係各位には、支部の会務運営に深いご理解と暖かいご支援を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災からの一日も早い復旧・復興が期待された年でありましたが、仮設住宅やガレキ処理の一巡後は一向に進展の兆しはなく、いまだ深い傷跡を残したまま今日を迎えています。また、円高や原発問題の是非をめぐる電力不足の長期化、欧州債務危機の影響による世界経済の低迷、さらには、尖閣諸島の国有化に端を発する日中貿易の悪化により、日本経済は年末にかけて後退を余儀なくされることになりました。

このような経済状況の中、肝心かなめの政治はというと、衆議院解散を見返りに改革議論を先送りしたまま消費税増税を成立させたいと思いきや、今度は解散時期を巡って長期にわたる政治空白をもたらす始末であり、国民不在で延命工作にあけくれる末期政権への怒りと失望ばかりを感じた年でした。

今の日本には、震災復興、領土、沖縄基地、円高、経済成長、原発、TPP、そして行政・社会保障・選挙制度などの各種制度改革と財政再建など、国内外に問題が山積しており、政治機能の回復に一刻の猶予もありません。緊急を要する経済や外交政策の展開には国内政治の安定が何よりも重要であり、特に外交面において、諸外国と腰の据わった外交交渉のできる政治体制を作らなければ日本は世界から孤立してしまいます。次期総選挙における国民の選択が、日本再生に向けての礎となることを期待し、平成25年が世界に向けて日本の

存在感を示す年となることを願います。

さて、日税連は、9月26日に「税理士法改正要望書」を機関決定し、翌27日に国税庁長官及び財務省主税局長にこの要望書を提出しました。これにより法改正は実現に向けて大きく前進しています。今後、議員連盟の開催等による国会議員への説明、隣接士業との調整などを行い、平成25年度税制改正大綱への記載及び平成25年通常国会への法案提出を目指すこととなります。池田会長は、10月15日発行の「税理士界」において、「法改正を実現できるよう、全身全霊を傾ける所存であり、会員各位におかれては、全会員が団結し英知を結集して一枚岩となって乗り切ることにご理解とご支援をお願いしたい。」と決意並びに会員への協力を述べられています。支部会員の先生方におかれましては、法改正についての十分なるご理解とご協力をお願い致します。

また、会員先生方には、本年も電子申告の普及・定着、書面添付制度の拡充、租税教育の推進などに引き続きご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

年明け早々から、年金受給者や小規模企業者に対する税務支援事業がいよいよ始まります。この支援事業は、直接納税者に接して税理士制度をPRする絶好の機会であり、また税理士業務の無償独占の堅持、税理士の社会的使命遂行のための重要な事業であります。納税者に対し、親切・丁寧・わかりやすいご指導を本年もよろしくお願い致します。

結びに当たりまして、この新しい年、平成25年巳年が日本再生に向けての礎の年となりますよう、また会員先生や関係各位にとりまして希望に満ちた良き年となりますよう、心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ 伏見税務署長 水嶋 保



新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭に当たり、近畿税理士会伏見支部の諸先生方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素は、税務行政全般につきまして、諸先生方には深いご理解と多大なご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

私が伏見税務署長を拝命して早や半年が過ぎようとしておりますが、この間、伏見税務署における事務運営も順調に推移しております。

これはひとえに、私どもの各種施策等に対しまして、諸先生方が積極的にご支援をいただいているおかげであると、深く感謝いたしております。

特に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)の普及・定着を推進する体制といたしまして、伏見支部、公益社団法人伏見納税協会及び伏見税務署との3者で「伏見e-Tax連絡協議会」を設立し、大きな役割を担っていただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

間もなく、平成24年分の確定申告期を迎えることとなりますが、本年も昨年に引き続き「e-Tax」と「ICT」の利用促進につきまして、一層の推進に取り組むこととしております。

伏見支部の諸先生方におかれましては、昨年にも増してご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、本年から施行されます国税通則法改正に伴う税務調査手続等の法定化に関しましても、併せてご協力をお願い申し上げます。

ところで、新年という時期はやはり、「日本」をもっとも感じる時期のひとつではないでしょうか。年賀状や新年のあいさつなど、日本元来の文章にたくさん触れる時期でもあります。言葉や文章には様々な意味があり、受け取り方によってそれは更に無数に広がります。

私事で恐縮ですが、これらの言葉や文章を1ヶ月に1つずつ職員に紹介しており、一例を紹介させていただくと、

● 署長一言メモ

(7月)

「自分には 嫌なところもあるけれど それも自分」

コメント:嫌な部分もひっくるめて自分なので、すべての自分を受け入れられるとよいですね。

(8月)

「走るもよし 休むもよし 寄り道もよし あせらずあきらめないで」

コメント:ゴールへのルートは人それぞれ、やり遂げることが大事ではないでしょうか。

(9月)

「これがええ これであえ これしかないねん」

コメント:考えに考えを重ねて、最終判断に絶対の自信を持ちたいですね。

(10月)

「自分の道 行くも戻るも 自分で決める」

コメント:強い決断力を持って、自分自身が何事にも臨んでいきたいですね。

諸先生方もたくさんの言葉や文章をご存知のことでしょう。善き言葉や文章等がございましたら、お教えいただくと幸いです。

新しい年を迎えるに当たり、本年が近畿税理士会伏見支部並びに諸先生方にとりまして、ご繁栄とご多幸の年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ 伏見税務署副署長 門田 正雄

新年明けましておめでとうございます。

平素は、税務行政全般に対しまして、近畿税理士会伏見支部の諸先生方には、深いご理解と多大なご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

また、水嶋署長が申しあげましたとおり、署務運営が順調に推移していることは、諸先生方のご協力とご支援の賜物であると私を含めた署員一同、心から感謝いたしております。

さて、昨年を振り返ってみますと、諸先生方には従来からご支援いただいているe-Taxの普及・定着の推進に加え、国税通則法改正に伴う税務調査手続等の法定化に対しましてもご協力を賜っております。

この国税通則法改正に伴う税務調査手続等の法定化に関しましては、本年から施行され、定着までには様々な意見や要望が納税者の皆様から諸先生方にも寄せられることと思いますので、それらを私どもにお聞かせいただき、更なるご協力を重ねてお願い申し上げます。

ところで、おめでたい新年にはお酒、特に日本酒がつき物でございます。当伏見は、古来より清酒造りが盛んな土地柄でございます。

季節ごとのお酒の楽しみ方には、有名な花見、月見、雪見のお酒がございますが、このほかのものを少しご紹介

させていただきます。

●四季折々の季節酒

(春)「桃花酒」

桃の節句に飲むお酒で、諸病を払い、顔色を良くすると中国の故事で言われています。

(夏)「夏越しの酒」

6月の晦日に半年間の汚れを流す意味から飲む暑気払いのお酒です。

(秋)「重陽の節句」

旧暦9月9日、長寿効果があるという「菊花の酒」で長寿祈願と災難払いをします。この日から翌年3月3日までお酒は爛で楽しむのが正式だそうです。

(冬)「屠蘇」

年頭に一家揃って飲むお屠蘇。もとは中国の風習で、味醂に屠蘇散を浸すようになったのは明治時代からで、それまでは清酒を用いていたそうです。

新年を迎えまして、近畿税理士会伏見支部並びに諸先生方がますますご繁栄され、幸多き一年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

支部活動報告

支部役員会

24. 9.20 第3回役員会 京都税理士会館

出席者数23名

1. 伏見納税協会会員等に対する決算指導に関する件
2. 新年研修会、意見交換会に関する件
3. 次回役員会及び忘年会の日程の件
4. 理事会報告
5. 各委員会報告

24.12.11 第4回役員会 清和荘 出席者数27名

1. 平成24年分確申期における地区相談割当等に関する件
2. 新年研修会、意見交換会に関する件
3. 「第33回支部定期総会」開催日に関する件
4. 支部役員選考委員の員数に関する件
5. 理事会報告
6. 各委員会報告

税務署・支部懇談会

24. 7.19 第3回 伏見税務署会議室 出席者数23名

1. e-Taxの利用拡大について
2. 書面添付について
3. 当面の諸問題及び連絡事項

24.10.11 第4回 伏見税務署会議室 出席者数23名

1. e-Taxの利用拡大について
2. 書面添付について
3. 当面の諸問題及び連絡事項

24.12.14 第5回 伏見税務署会議室 出席者数15名

1. e-Taxの利用拡大について
2. 平成24年分確申期の地区相談について
3. 書面添付について
4. 当面の諸問題及び連絡事項

総務委員会

24.12. 6 第3回 京都ホテルオークラ 出席者数11名

1. 平成24年度諸事業実行に関する件
2. 平成24年度予算実行の件
3. その他当面の諸問題について

研修委員会報告

24. 7.20 第2回研修会 出席者数92名(うち他支部0名)

テーマ 土地評価の重点解説
～広大地評価から不動産調査まで大きく差がつく重点ポイントの徹底解説～

講師 不動産鑑定士・税理士 丸田 隆英氏
会場 リーガロイヤルホテル京都

24. 9. 6 第3回研修会 出席者数99名(うち他支部16名)

テーマ みんなが知りたい資産税 ー最新情報ー
「株式保有特定会社に係る衝撃的判決

の解説」
講師 税理士 笹岡 宏保氏
会場 京都税理士会館

24. 9.20 第4回研修会 出席者数82名(うち他支部4名)

テーマ 中小企業の会計に関する基本要領と税制改正

講師 税理士 上西 左大信氏
会場 京都税理士会館

24.10. 4 第5回研修会 出席者数84名(うち他支部8名)

テーマ みんなが知りたい法人税 ー最新情報ー

講師 税理士 植田 卓氏
会場 京都税理士会館

24.10.19 第6回研修会 出席者数56名(うち他支部0名)

テーマ バランス・スコアカード講座

講師 営業創造株式会社
代表取締役 伊藤 一彦氏
会場 京都税理士会館

24.11. 8 第7回研修会 出席者数75名(うち他支部6名)

テーマ みんなが知りたい所得税 ー最新情報ー

講師 税理士 上西 左大信氏
会場 京都税理士会館

24.12. 6 第8回研修会 出席者数76名(うち他支部6名)

テーマ みんなが知りたい消費税 ー最新情報ー

講師 税理士 金井 恵美子氏
会場 京都税理士会館

24.12. 6 第3回委員会 京都税理士会館 出席者数6名

1. 第9回(新年賀詞意見交換会)研修会のテーマについて
2. その他当面の諸問題について

税務支援対策委員会

24. 7.18

平成24年度下半期(平成24年10月～平成25年3月)の京都税務相談センターの相談室に派遣する担当税理士11人を選任し、支部連へ通知した。

24. 7.25

支部連税対担当者会議に副支部長、委員長が出席し、情報の収集を行った。

24. 8.18

平成24年度記帳指導に関する導入講義指導担当税理士名簿(2人)を近畿税理士会に送付した。

24. 8.30

総務省京都行政評価事務所の「一日合同行政相談所」に派遣する担当税理士2人を選任し、支部連へ通知した。

24. 8.31

支部連の「不動産なんでも無料相談」に担当税理士1人を選任し、通知した。

24. 9. 3

伏見納税協会会員等に対する平成24年分「年末調

貯める 運用する 借り入れる 積み立てる 備える 管理する

京都銀行は、さまざまなシーンで皆様を応援します。

お気軽にご相談ください。



飾らない銀行
京都銀行



整相談会」及び「決算・申告指導日」について委員長が納税協会専務理事と協議した。

24. 9. 7
近畿税理士会に「税務支援事業に関するアンケート」の報告を行った。

24. 9.13
平成24年分の確申期地区相談の日程及び人数等について副支部長、委員長が税務署と協議した。

24.10. 3
京都商工会議所洛南支部の事務長他1人と「洛南支部税務特別相談会」の事務内容について打ち合わせを行った。

24.11. 2
一般事業者に対する確申期「税務特別相談会」につき担当税理士3人を選任し、京都商工会議所洛南支部へ通知した。

24.11. 2
伏見納税協会会員等に対する年末調整相談会担当税理士4人を選任し、伏見納税協会へ通知した。

24.11.14
伏見納税協会会員等に対する決算・申告指導の集合指導につき担当税理士15人を選任し、伏見納税協会へ通知した。

24.11.19
近畿税理士会の支部税対担当者責任会議に委員長が出席し、情報の収集を行った。

24.11.22
平成24年分確定申告相談の従事免除申出書提出のお願いを送付した。(期限12月10日)

24.11.27
京都市区民相談室に派遣する担当税理士3人を選任し、支部連へ通知した。
伏見区役所1人(平成25年2月7日実施)
醍醐支所1人(平成25年2月8日実施)
深草支所1人(平成25年2月12日実施)

24.12. 6
伏見納税協会会員等に対する決算・申告指導の電子申告に対応するため、代理送信担当者リスト及び税務支援用電子申告開始届出書11人分を伏見税務署へ提出した。

24.12.13
伏見納税協会会員等に対する決算・申告指導の分科会での指導につき担当税理士13人を選任し、伏見納税協会へ通知した。

24.12.24
平成24年分の確申期地区相談会の配員(案)を作成した。

24.12.26 第3回委員会 春神 出席者数10名
議題1.平成24年分確定申告相談方式による税務支援実施に関する件
2.「地区申告相談会場」責任者会議開催に関する件
3.伏見納税協会会員等に対する納税相談会開催に関する件

4.その他当面の諸問題について

広報委員会

24. 7.21 第3回委員会 伏見納税協会 出席者数9名

1. 支部報「伏水」第62号原稿打ち合わせ
2. その他当面の諸問題について

24. 7.31 第4回委員会 伏見納税協会 出席者数9名

1. 支部報「伏水」第62号原稿打ち合わせ
2. その他当面の諸問題について

24. 8.20 第5回委員会 フリップフロップ 出席者数8名

1. 支部報「伏水」第62号発送
2. その他当面の諸問題について

24.10.15 租税教室 聖母学院中学校 出席者数5名

村田先生派遣

24.10.29 租税教室打ち合わせ 京都すばる高等学校

出席者数3名

24.11. 6 租税教室 京都すばる高等学校 出席者数3名

須藤先生樋爪先生2名派遣

24.11.20 第6回委員会 伏見納税協会 出席者数7名

1. 支部報「伏水」第63号原稿 1次校正
2. その他当面の諸問題について

24.12. 6 第7回委員会 京都税理士会館 出席者数8名

1. 支部報「伏水」第63号原稿 最終校正
2. その他当面の諸問題について

24.12. 7 インターンシップ報告会 京都すばる高等学校 出席者数7名

24.12.28 第8回委員会 伏見納税協会 出席者数8名

1. 支部報「伏水」第63号 発送
2. その他当面の諸問題について

厚生委員会

24. 7. 6 支部連対抗ボウリング大会に参加した。
出席者数 9名

24. 7.25 支部連 厚生担当者会議に参加した。
出席者数 2名

24. 7.28 「麻雀大会」を開催した。
出席者数 16名

24. 9. 8 支部連ソフトボール大会で準優勝となった。
出席者数 19名

24.10.13～15 支部旅行「香港・マカオ」を実施した。
出席者数 26名

**24.11.17 京都自由業団体懇話会
親睦ソフトボール大会に参加した。**
出席者数 3名

24.12. 6 第3回厚生委員会 京都税理士会館 出席者数 8名

1. 支部旅行の総括
2. 平成24年度事業計画に関する件
3. その他当面の諸問題について

新入会員紹介



鈴木 健太

この度、新入会員として伏見支部に入会させていただきました杉田德行税理士事務所の鈴木健太と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は、奈良県生駒郡斑鳩町という所で生まれ育ち、現在もそこに住んでいます。世界遺産の法隆寺や法起寺がある歴史の町です。

大阪の会計事務所を経て、今の事務所にお世話になって3年。それまでは伏見には縁がない生活を送っておりました。大学時代は奈良の実家から近鉄電車ですら通っていましたが、大手筋商店街の賑わいを車内で見るだけで一度も降りることなく4年間(正確には5年間)が過ぎて行きました。

伏見に縁を感じ始めたのは、今の事務所にお世話になる3年前、生まれて初めて伏見稲荷大社に行ったときの事です。そこでおみくじを引いたのですが、なんと大大吉。今までそのようなおみくじを引いたことがないのはもちろんのこと、その存在すら聞いたことはありません。今の事務所で働こうと決めたのも、少しその大大吉が影響しているのかもしれませんが。

おみくじの影響もあってか、昨年税理士試験に合格し、今年税理士登録いたしました。仕事をしていると、様々な課題に直面します。その中で、自分の力不足を実感することも多々ありますが、力不足＝伸びしろがあると前向きに捉え、少しずつであっても専門家として成長していけるように、また、継続して努力できるように日々問題意識を持って過ごしたいと考えています。

最後になりましたが、伏見支部の諸先輩の先生方にはいろいろとお世話になることもあるかと思いますが、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

支部会員の異動(平成24年7月～平成24年12月)

正会員 157名、準会員 14名、税理士法人 7社(平成24年11月25日現在)

	異動理由	氏名	事務所所在地等	電話番号
正会員	入会(補助)	鈴木 健太	深草稲荷中之町33 杉田センタービル 杉田德行税理士事務所	075-647-0881
	退会(業務廃止)	岩井 宏之	舞台町43番地	075-601-3746
	事務所変更	田中 明	竹田段川原町170番地	
	入会(従)	税理士法人森川会計事務所 京都支社	深草山村町1001番地2	075-641-4440
	税理士区分変更(社員・支店)	森川 兼造	深草山村町1001番地2 税理士法人森川会計事務所 京都支社	075-641-4440
	退会(死亡)	清水 潤也	羽束師志水町165-176	075-933-0585
	FAX番号変更	樋爪 利行		075-632-8712
	転入(天王寺より)	佐々木 政三郎	伏見区両替町14-156	075-621-2017
	税理士区分変更(補助・支店)	高島 博	深草山村町1001番地2 税理士法人森川会計事務所 京都支社	075-641-4440
	転出(右京へ)	横井 勝	京都市右京区太秦開日町27-22	
	住所変更	四方 健策	京都府宇治市羽戸山3丁目1番地の126	
	住所変更	村田 安弘	深草新門丈町17番地1 ファミールハイツ京都伏見ステージ1-1010	
	転入(東より)	藤田 久美子	深草西浦町2丁目2番地1 深草西浦住宅1121号	075-644-5339
	入会(補助・開業)	西平 昭夫	深草大亀谷東寺町76番地の8 西平菜苗税理士事務所	075-643-3251
	転入(右京より)(補助・本店)	山本 英和	西大手町307番地 エイトビル5階 税理士法人京都経営	075-603-9022

www.kyozei.or.jp/

行事予定、各種講座・新刊図書のお申し込みをご案内しております。是非ご覧ください。
出資金1万円(会費無料)で様々な特典が受けられます。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

京都税理士協同組合

〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2 京都税理士会館内
Tel 222-2311(代) Fax 222-2355

年男年女



中嶋 康江

新年明けましておめでとうございます。
 今年は、私の廻り年になりまして、旧暦で申しますと(巳巳の八白の年・生)と云う事で、アット云う間に80年程の歳月を過ごして参りました。過去55歳定年制度がありました頃に入会致しまして、昨年には税理士業務を無事30年と云う事で、祝って頂きました。これも、皆様方のお力添えと、仕事を通して人生勉強をさせて頂きました事、皆々様に御礼と感謝の気持ちで、今年も無事に迎える事が出来ました。(ちなみに、巳年の人は平凡ですが、誠実で真面目に努力を致しますと、晩年がよろしいように聞いておりますが……ご参考迄に)この紙面をお借りしまして、会員の皆様に御礼とご挨拶をさせて頂きました。
 今年も皆々様 お元気でよい年でありますよう、お祈り申し上げます。

安居 健次

新年明けましておめでとうございます。
 早いもので、もう還暦を迎える年男になってしまいました。周りからは「おじいちゃん」と呼ばれるようになったり、目に見えて飛距離の落ちたゴルフ、走れないソフトボール、発信元がはっきり見えない携帯電話、顔は判っているのに名前が出てこない芸能人……の日々で

あります。
 ただ、今までに一度も入院経験がなかったのは、大変ありがたく思っております。丈夫な身体に産んでくれた親、偏食の多い食生活を支えてくれた家内には、感謝感謝です。
 チャップリンの言葉「人生は時間の長さではなく、時間の使い方が大事である」にならって、これからも元気で、新たな青春を過ごしていきたいと思ひます。
 今後ともよろしくお願ひ致します。

須藤 弘

新年明けましておめでとうございます。
 年男の原稿を書く歳となつてしまいました。まさに「流れて速きは月日なりけり」です。若いときは、年をとつたら悠々自適、気の向くままにのんびり、と聞いていました。現実はどうでしょうか。のんびりとはいきません、いやなこと、体調もわるくなることもあります。
 以前の生活パターンとの落差は大きい。ゲーテは「歳をとるということ自体が新しい仕事につくこと。周囲の事情は変わっている。新しい役柄を引き受けるほかない」と。また、「活動的な心、抑制された行為、急がぬ不断の努力を」心掛けるように勧めています。
 このことばを自分流に解すると、①いきいきとした気持ちで、②どんなことがあつても腹をたてることなく、③急がず、休むことなく、日々与えられる事を精一杯努める、

ということになると思ひます。なかなかできることではありませんが…。
 いつのまに 「年男」書く 歳となる
 希望をもって 生きていくのみ

小田 圭介

伏見支部の先生方、新年明けましておめでとうございます。先生方にとって本年も最高の一年であることを心よりお祈り申し上げます。
 さて、この度「年男」というテーマで原稿の依頼を受けましたので私なりに思うところを書かせて頂きたいと思ひます。
 私は昭和52年3月30日に福岡市の日本赤十字病院にて小田家の長男として生を受けました。今年で36歳、三度目の年男ということになります。三度目と言ひましてもこうして原稿を書く機会を頂くまで特に「年男」と言うものを強く意識したことはありません。せいぜい今年は自分の干支年だしいいことがありそうだなと思つていた程度です。丁度いい機会ですので自分のこれまでの年男の時を少し振り返つてみたいと思ひます。
 12歳、一度目の年男の時は昭和天皇がお亡くなりになられ昭和から平成へと時代が変わりました。世はまさにバブル期真っ只中、日本中が活気にあふれ早く大人になりたいと思つていたのでよく覚えています。
 それから12年後の24歳、二度目の年男の時、私は福

岡で家業の建設業を手伝いながらの税理士試験の受験生でした。12年前とは打つて変わり世は平成不況真っ只中。大学を卒業するもいい仕事もなく、なぜこんな時代に生まれてしまったのかと思ひながら試験勉強をしていたのはつい最近のことのようです。
 その後活動の場を学生時代を過ごした京都に移し、会計事務所に就職しました。職場の仲間にも恵まれ、仕事を一生懸命覚えながら税理士試験の勉強も続けました。職場で現在の妻に出会い結婚、税理士試験に合格したまさにその日に娘を授かりました。夫として父として、そして税理士としての責任が増え更に仕事に一生懸命に打ち込みました。
 しかし、自分の可能性に挑戦しようと独立を決意。34歳の時にこの伏見の地で独立を果たしました。思い返せば、悩みながら常に必死の12年間だった気がします。
 褒められたばかりの人生ではありませんでしたが、三度目の「年男」に当たる今年、こうしてこの12年を振り返つてみると、それなりに頑張つてきた自分を少々褒めてあげるのも良いかもしれないと思ひました。自分はこれで良いのだと思つると、自然とこれからの12年間にも、良いことが起こりそうです。
 12年後の自分なんて想像もつきませんが、四度目の「年男」を迎える時、またこうして自分を振り返る時間が持てたらいいなと思ひます。

つながる、生まれる、
地域の絆

京都信用金庫は人と人、企業と企業の絆を育む…
 そんなコミュニティ・バンクをめざし努力してまいります。

地域とともに コミュニティバンク
京都信用金庫

伏見支店 TEL601-9131	醍醐支店 TEL(571)7373	石田支店 TEL(572)6501	竹田支店 TEL(642)7711	下鳥羽支店 TEL(623)1011	大手筋支店 TEL(621)8008	淀支店 TEL(632)2591
北伏見支店 TEL642-4711	外環状線醍醐高畑交差点角 TEL(571)7383	外環状線石田交差点南 TEL(572)6506	竹田街道竹田久保町交差点南 TEL(643)8006	国道1号線赤池交差点東 TEL(601)6041	大手筋通竹田街道角 TEL(621)8008	納所町バス停前 TEL(632)2596
桃山支店 TEL622-6722	六地藏支店 TEL622-7111	JR稲荷駅北100m本町通沿 TEL(641)6361	紅梅山駅西側駅前ビル内 TEL(641)7165	竹田城南宮道バス停前 TEL(641)8111	向島ニュータウン6街区1棟107 TEL(622)8401	京阪墨染駅東1筋南 TEL(645)1301
南桃山支店 TEL621-5441	稲荷支店 TEL641-5291	御香宮神社前 TEL(611)1211	藤森支店 TEL(641)5127	竹田城南宮道バス停前 TEL(641)3541	向島ニュータウン6街区1棟107 TEL(622)8401	京阪墨染駅東1筋南 TEL(645)1501
久我支店 TEL(921)5711		久我神川消防出張所前 TEL(921)5571				

一緒にうれしい
On Your Side

みなさまのすぐとなりには京都中央信用金庫があります。

京都中央信用金庫

伏見支店 竹田街道丹波橋下ル TEL(621)3355 FAX(621)3357	醍醐支店 外環状線醍醐高畑交差点角 TEL(571)7373 FAX(571)7383	石田支店 外環状線石田交差点南 TEL(572)6501 FAX(572)6506	竹田支店 竹田街道竹田久保町交差点南 TEL(642)7711 FAX(643)8006	下鳥羽支店 国道1号線赤池交差点東 TEL(623)1011 FAX(601)6041	大手筋支店 大手筋通竹田街道角 TEL(621)8008 FAX(602)9201	淀支店 納所町バス停前 TEL(632)2591 FAX(632)2596
久我支店 久我神川消防出張所前 TEL(921)5711 FAX(921)5571	桃山支店 御香宮神社前 TEL(611)1211 FAX(602)1511	稲荷支店 JR稲荷駅北100m本町通沿 TEL(641)6361 FAX(641)5150	藤森支店 紅梅山駅西側駅前ビル内 TEL(641)7165 FAX(641)5127	竹田南支店 竹田城南宮道バス停前 TEL(641)8111 FAX(641)3541	向島支店 向島ニュータウン6街区1棟107 TEL(622)8401 FAX(602)7634	墨染支店 京阪墨染駅東1筋南 TEL(645)1301 FAX(645)1501

富士山頂への挑戦

平成24年8月4日～5日の2日間に亘り、支部会員の有志グループが富士山頂からのご来光に挑戦いたしました。

参加者は、登山にはほとんど縁がないと言っている江上明会員、中田均会員、萩原政宏会員とわたくし谷口貢会員の4人です。だれも富士登山の経験はないのですが、だれもが富士山への憧れはあるようで、「死ぬまでに一度は行ってみたい、今しかない」という軽いノリで挑戦は決まりました。今ふり返ってみると、みんな怖いもの知らずの山素人であったがゆえに実現した挑戦であったと思います。

行程は、朝8時に京都からバスで富士スバルライン五合目(2,305m)に向かい、夕刻5時に登山スタートして途中七合目の山小屋(2,950m)で仮眠をとり、朝方4時に山頂到着(3,776m)、5時頃にご来光を遥拝したのち、すぐに下山を開始、9時頃に五合目に帰還するというものです。歩行距離16.4km、標高差1,471mの吉田ルートへの挑戦です。

登山出発前に同行ガイドの“強力”さんより、「全員が山頂まで行けるわけではありません。リタイヤする場合、グループでどう対応するか決めておいて下さい。」と言われ、われわれは「脱落者は捨てていく」という方針でスタートしました。だれもリタイヤなんて言葉は頭にありませんでしたから……

六合目を目指し登山がスタートしました。不思議なことに最初は下り坂が続きます。「なんで下るの、もったいない」と減らず口を叩きながら、楽勝気分でのスタートです。やがて緩やかな上り坂に入り、六合目(2,400m)からは少し勾配の強いジグザグの山道に入ります。このあたりになると樹木帯も姿を消し、雲を眼下に見下ろすようになり、みんなが「雲上人」になったとはしゃぐよき時間でありました。

歩を進めて行くと、頭上を見上げれば七合目から八合目にかけての山小屋が立ち並び、要塞のように見えてきます。われわれの目指す山小屋(2,950m)を確認し、急勾配となった山道を進みます。高度のせいか、体力的にもきつく感じ始め、そこに見えているのに目標の山小屋にはなかなか到着できないという

辛くもどかしい時間でありました。ただ、途中で日没後の真っ赤な月を見たり、河口湖で行われていた花火を眼下に見下ろしたりとラッキーなサプライズにも恵まれたのですが、逆に、体力が一番のはずの萩原さんがすでに高山病の症状に見舞われるという逆サプライズも起きてしまいました。

午後9時、スタートして4時間、ようやく山小屋に到着です。山小屋ではわずか1時間半、二人が畳一畳の布団に寝るという状況であり、体を休めるために横になるという程度の休息でした。

10時半、満天の星空を眺めながら山頂を目指して出発です。急勾配のジグザグの山道、岩場の急山道を登り、体力も消耗し気温もぐっと下がって寒さを感じます。本八合目(3,400m)付近で萩原さんが高山病にてリタイヤ、程なく江上さんもそれに近い症状でリタイヤとなりました。ここからは中田さんとの二人旅です。

ここにきて、登山道が混雑のため、下山道から山頂を目指すルートに変更です。下山道は、下山のために火山礫がクッションのように敷き詰められていて、これを登るのは滑りやすく、なかなか一歩が進みません。私は本当にもう体力・気力も限界で、そこに山頂が見えているにもかかわらず、何度も「もうここで止めてしまえ」と思いましたが、強脚仙人の中田さんに励まされ(中田さんと一緒になかったら私は間違いなくリタイヤでした)、本当にようやくの思いで山頂に到着しました。時は朝方の4時前、登頂成功の余韻に浸る余裕もなく、ご来光まで茫然と体力の回復に努めるのが精一杯でした。

恵まれた天候のもと、ご来光前の薄明かりのもとで見る下界の景色は、大変神秘的です。澄みきった空気の中、はるか眼下には樹木林をキャンパスに雲海が浮かび、目線を上げると地平線には今まさに昇りつつある大きな太陽の力を感じます。ご来光を拝み、中田さんと記念写真に納まり、万歳を三唱したらもう下山です。3,776m日本一の霊峰富士山、つかの間の山頂滞在でした。

下山道の八合目で江上さんと萩原さんに合流し、

六合目まで大きなジグザグの下山道をひたすら降りていきます。さすがに下山は速いです。しかし、その分、足・膝・腰に大きな負担がかかり、六合目に到着したときは、もう足は棒のように、膝はガクガク、疲労困ぱいです。六合目からは登ってきた緩やかな山道を下山するのですが、この状態では一歩いっばが実に辛く、大変長い道のりでした。そして、最後の最後には、スタートのときに「何で下るの」と書いたように、辛いつらい登り道が待ち受けています。9時、最後の気力をふりしぼり、体力・気力の極限を感じながらの生還となりました。わが同志のみなさん、24時間、不眠・不休の富士山登山、大変お疲れ様でした。

私にとって、今回の富士登山は過酷を極めるものでした。正直なところ、私の今の体力でしかも素人登山として富士山を登るのは無謀でありました。やはり富士山は大きかった。そもそも、山登りの予行演習や基礎体力強化について何らの準備もせずに富士山に挑むことが大きな間違いであり、このことを痛感させられました。富士山も私の無謀さを知ってか、まさに「顔を洗って出直して来い」とあざ笑うかのように一蹴された感があります。十分に基礎体力を整備し、十分な登山計画を立て、そして素人だけでなく経験者を交えて挑戦することが大事なと勉強させられました。

今回の辛い過酷な体験を糧に、余裕を持って8分の体力でも登れる自信がつけば、もう一度素晴らしい富士山を見つけに、また富士山頂を一周するお鉢めぐり(歩行距離3km)にぜひ挑戦(???)してみたいと思います。しかし、これは、「夢のまたゆめ」……でしょうね…… (谷口 貢)

まさか自分がリタイヤなんて、考えてもいませんでした。ツアーだから安心、誰でも登れると思っていました。伏見の稲荷山を4回、愛宕山を1回、にわか登山で自信をつけたつもりでしたが富士山には通用しませんでした。

元気よく五合目からスタートして、しばらくは景色も楽しみながら余裕の登山でしたが七合目あたりから頭がクラクラし、めまいのような感じがして(高山病



か?)体力も急激に落ち、一步一步が辛くなってきました。そして八合目から砂道に入ったところで体がどうしても前に進まず、とうとうツアーのグループ(20人余り)に付いて行けなくなり、リタイヤです。八合目の山小屋に戻ってグループの下山を待つことになりました。本当に残念でした……でも、八合目からのご来光は拝めたと、山小屋ではリタイヤした知らない者同士が変な親近感で話し合ったのも楽しいものでした。

来年、もう一度、マイペースの時間配分ができるプランで再挑戦しようかと考えたりもしますが……「もう二度とあの苦しさは嫌だ」というのも本音です。 (江上 明)

死ぬまでに、一度は登ってみたいと思い富士登山を支部の有志数人で実行しました。

往路(バス内)では、口も達者で潔ぎよかったが現実には想いもよらない程、きびしいものでした。八合目からは、体力の限界を感じながらも、意地力で登頂しました。登頂して、日本一の山を征服(大げさかな)した達成感は何とも言えない気分でした。

復路のバスの中では疲労で全員爆睡のうち無事京都に着きました。きっと夢の中では全員登頂し、そろって「バンザイ」してる姿が見えます。

今、私の趣味を聞かれると、ゴルフ、自転車、プール、そして次に富士山(?)とつけ加える予定だったが、辞めました。「富士は眺めるもので登る所でない」というのが良くわかりました。

最後に、体力と時間がゆるせば、もう一度ゆっくりと登ってみたい気が少しあります。 (中田 均)

残念ながら私は、午前2時高山病のため、本八合目の山小屋へ収用されました。山頂から見るご来光は、来年までの持ち越しです。参加者募集しています。

(萩原 政宏)



支部旅行「香港・マカオ」

五十樓 裕

1日目の夜は、ポルトガル料理です。
マカオは、中国に返還される前は、ポルトガル領だったため、街並みにもどこか、ヨーロッパの雰囲気を感じられます。
今回お邪魔したお店は、通常なら貸切対応しないお店で、ミシュランガイド2012の2つ星店。石畳の路地を奥に進んでお店へ到着です。
ふだん、ポルトガル料理なんて縁が無いので、どんな素材でどんな味付けなんだろうと興味津々でしたが、どの料理も、僕たち日本人の口にとても合う、素晴らしくおいしい料理ばかりでした。
特に、魚介類がふんだんに入ったプイヤベース。トマトソースをベースに、ムール貝やら、アサリやら、カニやらいっぱい煮込んでありました。
日頃、○野屋とか○番屋とかが「とってもおいしい」と思う僕ですが、この時ばかりは、高級料理をおいしくいただきました。

中川 秀夫

マカオの小奇麗な街並みに感心していると、ガイドさんからゴミを捨てるで600ドルの罰金だと注意を受けた。ポルトガル料理のレストランでは、ポルトガル料理とはどうゆうものなのか把握できないまま、ワインと料理で満腹。とにかくおいしかった。食事の後、レストランの近くで皆さんと記念写真。いよいよ、バスに乗り込んで、札束を握りしめ、今度は夜の市内観光へ。カジノはどこだ!!
旅とは、移動を楽しむものだ?? まだまだ、旅は続きます。

小山 敏

30年ぶりにマカオに来ました。この大聖堂と爆竹の音は、当時と変わりませんが、そのほかは隔世の違いです。以前はマカオ全体が、大聖堂と同じくらい古びた下町でしたが、今では



高層ビルが立ち並ぶ大都会です。この写真も、少しアングルがずれると、高層ビルが写りこみます。

岡本 清臣

マカオの夜を満喫した翌朝、少しまったりした雰囲気でのマカオ観光。
しかし「媽閣廟」にて、有名な中国産爆竹にやられました！
爆音はもちろん、爆圧もやばすぎ。
おかげで眠気もぶっ飛び！

埜崎 静子

2日目のマカオでの昼食は、シティ・オブ・ドリームスのハードロックホテル内にある「ハードロックカフェ」にていただきました。カジノエリアを通り抜けて到着した店内には、有名ミュージシャンの記念品が所狭しと飾られているロックンロールがテーマのレストランです。揚げたてポテトがたっぷり添えられたメガハンバーガーとクラブハウスサンドに大型ボトルのケチャップとマスタードを好きなだけかけたボリューム満点料理を4人でシェア…味・量・雰囲気そして気分まで…とってもアメリカンでした!!!

阿戸 能貴

マカオ滞在の最後はハードロックカフェでの昼食です。併設の豪華なカジノを通り抜け、アメリカンサイズのボ

リュームあるハンバーガーをおいしくいただきました。
おなかいっぱいになったので、財布の中身もいっぱいになりそうとカジノで大勝負!!残念ながら財布はスカスカに…
それでも楽しい思い出いっぱいのマカオでした。

由里 いずみ

2日目午後、香港へ移動して最初に向かったのはレパルス・ベイ。砂浜が続き海水浴場として有名なところだそうです。
香港に海水浴場があるとは意外でした。夕食後はオープントップバスに乗り、市内を車窓観光、ピクトリアピークからの夜景観賞と続きました。何と言っても高層ビル群には圧倒されました。また短時間でしたが、市内を歩いて「香港」を肌で感じる事ができたのが良かったです。

新見 和也

アジアでも最高級といわれている広東料理のレストラン「欣園軒(ヤントーヒン)」で食べた北京ダックは絶品でした!!
テーブルから見える香港の夜景、美味しい数々の料理とお酒を堪能しました。
また機会があればぜひ行ってみたいです!!!!





藤田 雄彦

北京ダック最高でした!窓から見える摩天楼の夜景も最高でした!
本当に心の底からもう一度来たいと思ってしまいました。
ついでに中京支部の方たちとお会いしたのもびっくりでした。

浅田 芳弘

香港での夕食後はオープントップバスでの市内車窓観光へ。映画のシーンのように頭上
すれすれに看板が通り過ぎていって、今にも手が届き飛び移れそうなスリルを味わうこと
ができて最高でした!!

高屋 豊明

地下鉄で街を回った末に辿り着いた飲茶。でも飲んだのはビールだけ…。
点心を注文しすぎて、昨晚同様タッパに詰め込んでもらおうかと思ったぐらい。
最初から最後まで美味しい料理を満喫できました!!

古瀬 英美子

最後の食事は香港カルチャーセンターの中にある「映月楼」。午前中歩きまわり、おなか
がむちゃくちゃすいていたので急いで食べ過ぎてしまいました…
メニューは「蒸し点心」「揚げ点心」「キシメン包み」「お粥」など種類も豊富!!中でも金魚、
海老、兎の姿をかたどった「可愛い点心」シリーズは見た目も楽しめて、味もよし!!
今回の旅行は、すべての食事が美味しかったので大満足。えっ?もう帰るの?そんな~も
う1泊したいよ~(T_T)

HongKong Macau



清酒の醸造について

山本 喜雄

伏見は全国で一、二を争う名醸地であることは、よく知られているが、その条件の一つは良質の豊富な地下水に恵まれたことである。近年その水量も減少気味で心配されている。

原料米は精米、蒸米と加工しやすい大粒米が選ばれる。精白度は飯米が約10%に比して平均30%以下、吟醸酒では50%以下になる。約半分近くを糠にして白米の心白の澱粉を発酵に使う。

工程は蒸米から清酒になるまで、約20日から25日を要する。麴の酵素が蒸米の澱粉を糖分に変え、清酒酵母が糖分をアルコールに変えていく。この二つが同じタンクの中で、同時に進行するところが、清酒の平行複発酵の特徴である。ワインのようにブドウの糖類がアルコールにかわるのと比べるとその複雑さが分る。それが為、麴の造り方、清酒酵母の酒母が、酒質に大きく影響する。仕込みの

管理に細心の注意を要するところである。

酒の喇き方は、色、香り、口中感、引き込み香、喉こし、と感じていくが、熟成、老ね、若い、など表現が50以上有る。最後にどこの清酒が一番美味しいのか。これは難問である。例えば熊本酵母と秋田酵母は違うが、どちらも立派な吟醸酒を造る。風土、その地方の料理との相性、飲む人の好み等で違うのである。東北の酒造家に云われたことがある。伏見の上質な酒をマネすることは出来ない。しかし上質な酒は、東北の寒冷地では売れないだろう。飲みごたえが東北では必要と。



支部対抗 ソフトボール大会

ソフトボール大会に参加して

寺本 和生

9月8日恒例の支部対抗ソフトボール大会が開催され参加させていただきました。

午後から予想されていた天気の影響にみまわれることなく、むしろ残暑の厳しい日差しの中、予定通り開催されました。昨年は雨で中止になっていましたので、2年ぶりの大会です。

常勝を誇ってきた伏見支部も、一昨年は下京支部に悔しい負けを喫していましたから、今年にかける思いは、並々ならぬものでした。7月の夏季懇親会後の2次会の席で、谷口支部長、新見厚生委員長はじめ幹部の先生方が、今年のソフトボール優勝へ向けての、綿密な打ち合わせをされていた光景が思い出されます。

結果は、惜しくも準優勝。1回戦、準決勝と大勝したのですが、少し打ち疲れてしまったのでしょうか、



先攻チーム	得点	-得点	後攻チーム
【1回戦】			
上京支部	10	- 11	中京支部
下京支部	14	- 7	左京支部
右京支部	7	- 8	宇治支部
東山・園部支部	4	- 24	伏見支部
【準決勝】			
下京支部	5	- 14	中京支部
伏見支部	19	- 2	宇治支部
【決勝】			
伏見支部	5	- 8	中京支部

決勝戦では逆転を許した後、跳ね返す力が残っていませんでした。

それでも誇るべき準優勝。試合後は恒例となった清和荘でのすき焼きパーティで来年の勝利を誓い合いました。

私は、開業以来20年を過ぎました。この間、ソフトボールだけは、できる限り参加させていただいてきましたが、最近つくづく感じるがあります。それは、伏見支部は世代間の承継がほんとうに素晴らしい支部だということです。このことはソフトボールのみならず、日ごろの会務運営でもうかがえます。伏見支部の将来は安泰だと確信を持った一日でもありました。伏見支部のますますの発展と、会員の先生方のご多幸を、こころより祈念申し上げ、ソフトボール大会の報告とさせていただきます。

租税教室

広報委員
樋爪 利行



京都聖母学院
中学校



京都すばる
高等学校

平成24年10月15日(月曜日)に村田裕人先生が、京都聖母学院中学校にて租税教室を実施してくださいました。また同年11月6日(火曜日)京都府立京都すばる高等学校にて、須藤弘先生と私が租税教室を実施させていただきました。

私が担当した租税教室実施クラスは、1年生の計39名でした。当日伏見税務署員よりジュラルミンケースに入った1億円(1千万円の束を10束。模造品)を用意して頂き、授業の導入部に使いました。生徒が、初めて見る1億円で興味をもち、よりリアルさを実感してもらうために1千万ずつ配るなどしてから、本題の租税教育に入りました。「税制について考えてみよう」という財務省のパンフレットを教材資料として使いました。1.「税の意義と役割」として、税金は、社会の会費として民間では供給されにくい年金・医療、福祉、教育、警察・消防、水道・道路等といった様々な公共サービスを提供する資金として欠かせないものであること。2.「変化する社会・経済構造の意義と役割」として、人口減少・高齢化に伴う

社会構造の変化と膨らむ社会保障費について。3.「国の財政の現状」として、国の歳入と歳出のグラフを見比べて、国の借金返済が追いつかず、借金が年々増え続けているという3点についての現状を説明しました。残り7分ほどでグループに分かれて、これからの日本の財政や税金について話し合ってもらいました。最後は時間が足らず中途半端な形で終わってしまいました。

導入で5分、授業で35分、グループ討論で10分、計50分を予定していましたが、授業で40分以上かかってしまい、また原稿の棒読みになってしまったことなど反省点は数えきれないほどです。ただ生徒から「税のことなどあまり考える機会がなかったが、税について考えることができた。」「1億円のお金の重さを知った。」「自分たちの暮らしは、税で成り立っているということを知った。」等の感想がありました。租税教育のテーマである税とは何か、なぜ税金を納めなければならないのか、税金がどのように使われているのかなど、身近な所に税が存在していることを意識してもらえたのではないかと思います。

インターンシップ報告

京都すばる高等学校のインターンシップを通じて、優秀な生徒に出会い、本当に良かったと思っています。学校の先生や窓口をしてくださった方に大変感謝しています。

男子、女子の二人で、今どきの高校生とは思えない、髪の毛もまっ黒の純朴な感じの生徒でした。第一印象は、真面目そうな反面、事務所の仕事ができるのか、少し心配でした。

ところが、予め用意していた二日分の仕事を午前中で片付けてしまい、速さと正確さには驚かされました。初めての会計ソフトもなんなく使いこなしたので、会計の事をよく理解してのだと感じました。

最後に学生が、大学を卒業したらこの事務所に就職したいと言ってくれました。リップサービスだったかもしれませんが、私は彼らが来てくれることを願

っています。

あれ以来、関与先から求人の相談があれば、「京都すばる高校の生徒は優秀ですよ、きっと、いい人材がいますよ」と言っています。(小山 敏)

初めてのインターンシップの受け入れでしたが、最近の高校生の概念を覆す程、まだ日本の若人は捨てたものでないと実感しました。(堀口 裕弘)

生徒のひとりから、「1人の税理士さんでお客様の人生、会社の運命が変わるんですね」という言葉がありました。身をひきしめられる思いでした。

今後もインターンシップを続けたいと思いますので引き受けの事務所を募集しております。

(広報委員長/小山 富央)



T&D
T&D保険グループ

企業のために、
経営者とともに。

大同生命は、1902年(明治35年)7月に創業、2012年(平成24年)で創業110周年を迎えることができました。今後も「最高の安心」と「最大の満足」をお届けする生命保険会社を目指してまいります。

DJIDO 大同生命保険株式会社

京都税理士共済支社・京都支社/
京都市中京区烏丸通り三条下ル饅頭屋町595-3 TEL 075-256-7102



ゴルフは楽し!?

松井 克行



年齢50近くになって、ゴルフを始めました。ゴルフ旅行にお誘い頂いた顧問先の社長様とゴルフクラブを提供して下さった伏見支部のU先生のお陰で始めることができました。

ゴルフ経験のない者にとって、最初の最大の疑問は「止まっているボールを打つのに何でこんなにこずるのか。」ということです。しかしながら少し打ち慣れてくると静対動の難しさがわかってきます。悟りをひらいた僧侶のように鎮座する静のボールに対して煩惱の塊のような動の私が対峙するのですから結果はやる前から見えています。また日頃考え事をしながら物事をこなすことが多くなっている日常と異なり、こんなにひとつのことに集中するのは、久しぶりのことで新鮮でもありました。

この年齢から我流でやるには限界があると感じ、ゴルフ教室に通うことにしました。教室は老若男女様々で、先生のその人のレベルや年齢に応じた助言の出し方に非常に感心しました。ご年配の方に回らない肩や腰を回せと言っても無理な話ですし、また私のような中年の初心者に全ての欠点を指摘しても一度に直せるはずありません。ですのでその助言を出す順序やタイミング、説明の仕方が絶妙なのです。これぞプロの仕事という感じです。人に一から物事を教わることは謙虚になりますし、また人に対

する助言の出し方、出す順序について仕事の上でも大変勉強になりました。

もうひとつプロの仕事といえば、初めて行ったコースのキャディさんです。自分の打数を数えることもままならない私の世話を焼きつつ他の3人の方のクラブの用意や助言をテキパキこなす姿勢にプロの仕事を見ました。一緒にコースを回って頂いた方々のゴルフの腕前を上回るキャディさんの仕事ぶりに私は相当感心してしまいました。天気がよかったこともあり、お陰様で本当に気持ち良く回らせて頂くことができました。時間と空間を本当にゆったりと使う(今はまだ余裕がないですが)ゴルフというスポーツは本当に贅沢だなと心から思いました。

この年になって新しいことを始めるのは、なかなか色んな発見があって気づかされることも多くありました。それに50年弱も付き合っている自分の身体のことよくわかっていないなど。

余談ではありますが、顧問先の会社主催の100名を超える盛大なゴルフコンペでたくさんのハンディキャップがあるにもかかわらずぶっちぎりの最下位だった私を哀れだと思ったのか、日ごろ何かと物申す妻がゴルフ練習場に通う私を黙認してくれるという嬉しい誤算があったことも併せてご報告させて頂いて終わりとさせていただきます。

伏見義民の碑を訪ねて

石田 一郎

命を賭して地域の人々を守り抜いた素晴らしい物語。その感動は時代を越えてその功績を伝えます。

伏見城の大手門を移設したと伝えられる御香宮の表門を潜ります。そこは、大手筋通りの殷賑な雰囲気とは異なり、神聖な境内に変わります。正面の本殿を目指し、参道を一直線に進みたいところですが、すぐに左を見て頂きます。柵越えの小高い位置に円筒形の白っぽい碑は屹立しているのを確認することができます。その位置から一段下には簡易な建物に覆われた祠が見て取れます。ここからこの物語はスタートします。

安永8年(1779)、江州小室(現在滋賀県長浜市)藩主・小堀和泉守政方は伏見奉行として江戸表から着任しました。最初の頃こそ善政を敷き、名奉行振りを発揮しましたが、魔が差したようにある日を境に愛妾お芳の方の色香に節操を失い、遊興の限りを尽くし、瞬く間に善政から暴政に転じました。当時伏見の町は、地政学的に交通の要衝に位置する利点を生かし、流通を中心に製造・加工サービス産業等の全業種にわたり活況を呈し、莫大な富を持った多くの町人を輩出しています。そこに降ってわいた暴政により奉行所は町人に対して「御用金」を課します。建前上は貸付金ですが絶対に彼らが返済することはありません。なんとその額、5年の間に10万両にも達しました。現在の貨幣価値に換算すると80億円前後となります。そのため、数万人にも及ぶ伏見の町民を塗炭の苦しみに陥らせ、町人の資本は底をつき再生産さえおぼつかないという状況だったと伝えられています。いつ果てるかもしれない暴政に歯止めをかけたといふ思いで町年寄の文殊九助(鍛冶屋)、丸屋九兵衛(百姓)、麴屋伝兵衛(麴屋)の3人が江戸への直訴(越訴とも)を決意します。

当時の訴願方法は幕府の要路に奉行の不正を告発

する術はなく、幕府の意識としては、仮に訴えがあったとしても「たかが町民の分際で…」と、忌まわしい不埒な行為として、直訴したものには死罪を持って応えていました。天明5年(1785)7月に3人が江戸へ向かいます。伏見に残る有力町人、焼塩屋権兵衛(土器製造)、伏見屋清左衛門(塩屋)、柴屋伊兵衛(薪炭屋)、板屋市右衛門(材木屋)ら4人は情報連絡や3人の江戸での滞在費等の金策工面に当たりました。3人は小堀家の追手をかわしながら、ついに同年9月16日に松平伯耆守(江戸寺社奉行)への駕籠訴に成功します。伯耆守は早速訴状にしたためられた伏見奉行の悪行を老中に報告した結果、小堀政方は奉行を罷免され、宿所待機中の2人(麴屋伝兵衛は病死)は自由の身とするという裁可が下されず。直訴は一人の犠牲者も出さず、成功を収めたかに見えました。ところが幕府も支配階級の被支配階級に対する「衣の下の鎧」という筋を通したのです。その後、後任の伏見奉行(久留島氏)は関係者全員を逮捕し、うち続く拷問、過酷な牢獄生活で先の有力町人6人も牢死、その他多くの関係者も牢死するという痛ましい結末になりました。しかし、その後伏見の町は事件前のように、京都・大阪の物資の集散地として大いに栄えました。

この事件から100年後の明治20年(1887)に町人7人を義民として讃えた碑が建てられました。碑文は勝海舟の撰、題字は三条実美の書です。祠は、平成17年(2005)に事件で犠牲になった町人たちを祀る社殿として建立されたものです。

重商主義の田沼(意次)派と農本主義の反田沼(松平定信ら)派の政争の具に利用された、との冷めた見方もあるようですが、勇気ある町人の素晴らしい行動、功績の前には、いささかも揺るぎないことは言うまでもありません。



義民の遺髪塔を祀る区役所前の大黒寺

義民の碑、手前社殿

伏見奉行所跡の碑、桃陵団地西入口

新発売!

JDL IBEX 税務 net

SaaS方式の税務ソフト、JDLから!

日本中の税理士によって磨かれた
40有余年の歴史と信頼、
そして、その使い易さ。

アイベックスボーイ
©Japan Digital Laboratory

■充実のPC税務ソフトラインナップ	
法人税申告書	相続税・贈与税申告書
減価償却	財産評価
消費税申告書	相続対策シミュレーション ^{※2}
電子申告 ^{※1}	相続税納付計画 ^{※2}
勘定科目内訳書・事業概況説明書	TAXシミュレーション ^{※2}
所得税確定申告書・青色申告決算書	申告書・申請届出書フォーム集 ^{※2}
給与計算・社会保険算定	JDL IBEX出納帳net監査
年末調整・法定調書	

※1 2013年1月提供開始予定。 ※2 2012年12月提供開始予定。

■抜群のコストパフォーマンス
各ソフトウェアの価格は、ホームページをご覧ください。

●「体験版」ダウンロードご提供中!
ご検討のソフトがお試しいただけます。体験版をホームページでダウンロード提供中!

今なら、来年度税制改正版を無償でご提供する『発売記念特別キャンペーン』実施中!

株式会社 日本デジタル研究所 <http://www.jdlbex.net/zeimu/> ●詳しくはホームページをご覧ください。 税務net

京都営業所 / 〒600-8441 京都市下京区新町通四條下ル四條町347-1 (京都西烏丸ビル8F) … Tel.075-343-7271 (代)